

〈叢書ビブリオムジカ〉

10月25日発売予定

「聴くこと」の革命

ベートーヴェン時代の耳は「交響曲」をどう聴いたか

著◎マーク・エヴァン・ボンズ [音楽学]


訳◎近藤譲・井上登喜子

交響曲はなぜ偉大で崇高なのか？
 音楽を聴くことはいつから
 真理の探究と等しい行為になったのか？

1800年前後の数十年間に、
 人々は新しいやり方で音楽を聴き始める。
 器楽曲は思想を伝え、真理を告げ、
 理想の国家を表象する媒体となった。
 美学上の革命と社会革命とが合流を遂げたこの時代、
 聴衆の〈耳〉は交響曲に何を聴いたのか——。
 ベートーヴェン時代の人々の感性に
 大胆にアプローチした画期的な研究。



定価：本体 **2800** 円 [税別]
 A5判・並製・336頁
 ISBN978-4-86559-130-9
 C1073
 【クラシック／音楽史／音楽美学】

 **03-3411-7927**
 (アルテスパブリッシング)

- ▶取引取次：松沢書店・大阪村上楽器・プリマ楽器・JRC・太洋社・大阪屋
- ▶トーハン、日販、栗田、中央社、日教販、ほかの取次帳合書店様にも納品します。
- ▶前項の取次を通じた委託配本は行なっておりませんので、新刊は事前にご注文ください。
- ▶返品はいつでも承っております(返品了解者：鈴木)。

貴店印 	ご注文数 部	<p>「聴くこと」の革命 〈叢書ビブリオムジカ〉</p> <p>ベートーヴェン時代の耳は「交響曲」をどう聴いたか？ マーク・エヴァン・ボンズ [著] 近藤譲・井上登喜子 [訳]</p> <p>定価：本体 2800 円 (税別)</p> <p>ISBN978-4-86559-126-2 C1073 (株)アルテスパブリッシング</p>
---------------------	-----------------------	---